

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
2024年度 第3回事業普及委員会議事概要

- I. 日時： 令和6年7月25日（木）17:30～19:30  
配信場所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局（Zoomによるオンライン会議）
- II. 出席者 今泉委員長、波多野委員、尾崎委員、西浦委員、木村委員、歌代委員(すべてネット出席)  
(事務局：井端事務局長、中村)
- III. 検討内容
1. 2024年度機関誌 No.2（9月号）の企画について
- ① 巻頭言は、神戸学院大学に依頼することにした。
- ② No.2（9月号）の特集は、「大学授業における生成AIの利活用と教育評価を考える」とし、大学教育における生成AIの利活用の取組みやその考察について以下に出稿依頼を行い、依頼先の承諾を得て掲載することを確認した。
- ・「アクティブラーニングにおける生成AIの活用と授業デザイン」（仮題）  
東京大学大学院特任准教授 中澤 明子 氏
  - ・「昭和大学における医学教育と生成系AIの現状とこれから」（仮題）  
昭和大学医学部 村上幸三 氏、鈴木慎太郎 氏、泉 美貴 氏
  - ・「生成AIを活用した商品企画に関するPBL授業実践と考察」（仮題）  
仁愛女子短期大学教授 澤崎 敏文 氏
  - ・「ChatGPTを用いたメディアの内容分析」（仮題）  
早稲田大学政治経済学部 准教授 中村 理 氏
  - ・「情報工学科教育支援のコミュニケーションツールにChatGPTボットを導入」（仮題）  
大阪電気通信大学 情報通信工学部教授 竹内 和広 氏
  - ・『教員が利用する場合』と『学生に利用させる場合』のグッドプラクティス  
～生成AIの活用等に関する教員アンケートから～（仮題）  
横浜国立大学 教育推進機構准教授 安野舞子 氏
  - ・「授業における生成AIの利用と評価について」（仮題）  
大阪大学 全学教育推進機構教育学習支援部准教授 浦田 悠 氏
  - ・「生成AIが成績評価に及ぼす影響」（仮題）  
獨協大学 外国語学部教授 木村 佐千子 氏
- ③ 機関誌では、これまで数理・データサイエンス・AI教育プログラム「(リテラシーレベル)プラス」および「(応用基礎レベル)プラス」に選定された大学の取組みを、「その1」から「その6」として紹介してきたが、本号では紹介できていなかった以下の3大学の取組みを「その7」として紹介することとした。
- ・大阪大学 (リテラシーレベルプラス)
  - ・神戸大学 (リテラシーレベルプラス) (応用基礎レベルプラス)
  - ・和歌山大学 (応用基礎レベルプラス)
- ④ 「私情協ニュース」は、以下を掲載することを確認した。
- ・令和6年度(2024年度)文部科学省概算要求に対する情報関係補助金予算の要望
  - ・公益社団法人私立大学情報教育協会とは
  - ・2024年度私情協 教育イノベーション大会オンライン開催要項
- ⑤ 「事業活動報告」は、以下を掲載することを確認した。
- ・令和5年度年度分野連携分野連携アクティブ・ラーニング対話集会の結果報告
  - ・分野横断フォーラム型授業の試行実験の成果と課題
  - ・ビデオ試問による思考力等の外部点検・評価・助言構想試行実験の詳細計画
- ⑥ 「募集」は、前号に続き「生成AIを利活用した授業改善の取組みの募集」を掲載することを確認した。
2. その他（次回の日程について）  
今回は2024年度No.2（9月号）の原稿の確認を中心に検討することとし、開催日時は、9月13日（金）18時より、引き続きネット（ZOOM会議）にて開催することとした。